持帰り厳禁

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで
一切開かないでください。

令和８年度

液化石油ガス設備士　法令試験問題

LX

試験時間　9:30 ～ 10:30

〔注意事項〕

1. **配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。**
   万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
2. 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
3. 解答は、各問題の下に掲げてある (1) ～ (5) の解答選択肢の中から、**最も適切なものを１つ選び、答案用紙にマーク**してください。
   １問につき２つ以上の解答を選択し、答案用紙にマークした場合には、その問については０点になります。
4. 採点はコンピュータで処理しますので、答案用紙にマークする場合には、枠いっぱいにはみ出さないように黒く塗りつぶしてください。
5. 筆記用具は、**鉛筆またはシャープペンシル（ＨＢまたはＢ）以外使用できません。**
6. 訂正する場合は、**消しゴムでていねいに消してから訂正**してください。
7. **問題の内容に関する質問にはお答えできません。**
8. 試験開始後、30 分間は退室できません。
9. **この問題用紙は回収します。**途中退室する方は退室時に、最後まで受験する方は試験終了時に答案用紙と併せてこの問題用紙を提出してください。
10. 特に記述のない場合、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に基づいて答えてください。

この試験は、次による。

(1) 令和8年4月1日現在施行されている法令に基づき出題している。

(2) 経済産業大臣が危険のおそれがないと認めた場合等における規定は適用しない。

問1 液化石油ガス法の目的及び定義に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．液化石油ガス法は、一般消費者等に販売する液化石油ガスの販売価格を規制し、もって公共の福祉を増進することを目的としている。

ロ．メタンは、液化石油ガスの主成分の一つとして定められている。

ハ．液化石油ガスを蒸気の発生又は水温の上昇のための燃料としてサービス業の用に供する者(特に定められた者を除く。)は、「一般消費者等」である。

(1) ロ　(2) ハ　(3) イ、ロ　(4) イ、ハ　(5) イ、ロ、ハ

問2 貯蔵設備の貯蔵能力が1000キログラム未満である容器による供給設備(バルク供給に係るものを除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．屋外に設置された内容積47リットルの充てん容器及び残ガス容器は、その容器を置く位置から2メートル以内にある火気をさえぎる措置を講じなくてもよい。

ロ．充てん容器等には、湿気、水滴等による腐しょくを防止する措置を講じなければならないが、その容器に取り付けてあるスカートには、その措置を講じなくてもよい。

ハ．残ガス容器(内容積が5リットル以下のものを除く。)には、転落、転倒等による衝撃及びバルブ等の損傷を防止する措置を講じなければならない。

(1) ロ　(2) ハ　(3) イ、ロ　(4) イ、ハ　(5) イ、ロ、ハ

問３　供給設備(バルク供給に係るもの及び特定供給設備を除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．生活の用に供する液化石油ガスに係る調整器(二段式減圧用一次側のものを除く。)の調整圧力は、2.3キロパスカル以上3.3キロパスカル以下であること。
ロ．バルブ、集合装置、気化装置及び供給管のうち、漏えい試験に合格するものでなければならないものは、集合装置と供給管である。
ハ．一つの供給設備により二つ以上の消費設備に供給する場合は、ガスメーターの入口側の供給管に、ガス栓を設けること。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問４　貯蔵能力が950キログラムのバルク貯槽による供給設備の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．バルク貯槽(附属機器及びふた付きのプロテクターを除く。)は、高圧ガス保安法で定める特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証を有するものでなければならない。
ロ．バルク貯槽の附属機器のうち安全弁は、所定の放出管を設けた場合であっても、ふた付きのプロテクターで保護しなければならない。
ハ．地上に設置するバルク貯槽の基礎は、平坦なコンクリート盤等による水平、かつ、地盤面と同一高さのものとし、かつ、不同沈下等によりバルク貯槽に有害なひずみが生じないようなものであること。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問５　地盤面下に埋設する貯蔵能力が980キログラムのバルク貯槽による供給設備の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．バルク貯槽の頂部が地盤面から25センチメートル下になるよう埋設した。
ロ．バルク貯槽に、所定の方法で地下水による浮き上がりを防止する措置を講じた。
ハ．バルク貯槽のプロテクター内にガス漏れ検知器を設け、液化石油ガスの漏えい情報等を常時監視するシステムと接続したので、その貯槽の周囲には、ガス検知用の孔あき管を設置しなかった。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問６　特定供給設備に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．貯蔵設備が容器であって、その貯蔵能力が 2000 キログラムのものには特定供給設備の技術上の基準が適用される。
ロ．特定供給設備の気化装置は、直火で直接液化石油ガスを加熱する構造のものを使用できる。
ハ．貯蔵設備が地盤面上に設置するバルク貯槽であって、その貯蔵能力が 3000 キログラムであるものは、そのバルク貯槽に生じる静電気を除去する措置を講じなければならない。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問７　次のうち、保安業務の区分として定められているものはどれか。

イ．漏えい試験
ロ．周知
ハ．保安検査

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問８　消費設備(質量により液化石油ガスを販売する場合のものを除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．液化石油ガスの消費量が 15 キロワットの密閉式でないガス瞬間湯沸器を屋内に設置したので、そのガス瞬間湯沸器の修理や交換が容易に行えるように、そのガス瞬間湯沸器の排気部とその排気筒の接続部は容易に外れるよう取り付けた。
ロ．配管は、所定の圧力以上の圧力で行う耐圧試験に合格するものを使用した。
ハ．配管には、腐しょくを防止する措置を講じた。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問9　消費設備(質量により液化石油ガスを販売する場合のものを除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．ガスメーターと燃焼器の間の配管その他の設備は、生活の用に供する液化石油ガスに係るものにあっては、燃焼器の入口における液化石油ガスの圧力を2.0キロパスカル以上3.3キロパスカル以下の範囲に保持するものであること。
ロ．末端ガス栓と燃焼器とを接続する場合には、所定の燃焼器の区分に応じ、所定の方法により、末端ガス栓と燃焼器とを接続しなければならない。
ハ．屋内に設置する自然排気式のガスバーナー付きふろがま(密閉式のものを除く。)に設ける排気筒(排気扇が接続されているものを除く。)の有効断面積は、その燃焼器の排気部との接続部の有効断面積より小さくないこと。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問10　消費設備(質量により液化石油ガスを販売する場合のものを除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．屋内に設置した自然排気式のガスバーナー付きふろがま(密閉式のものを除く。)の排気筒(排気扇が接続されているものを除く。)は、その先端を屋外に出し、かつ障害物又は外気の流れによって排気が妨げられない位置に設置した。
ロ．屋内に設置するガス瞬間湯沸器(密閉式のものを除く。)であって液化石油ガスの消費量が12キロワットを超えるものの排気筒は、凝縮水等がたまりにくい構造とした。
ハ．屋内に設置する密閉式ガスふろがまの給排気部は、十分な耐食性を有するものとした。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問11　次の作業のうち、液化石油ガス設備士でなければ従事してはならない液化石油ガス設備工事の作業はどれか。

イ．硬質管の寸法取りの作業
ロ．地盤面下に埋設するバルク貯槽に電気防しょく措置を講じる作業
ハ．保安検査の作業

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問 12　次の液化石油ガス設備工事のうち、その設備工事を行った者が、遅滞なく、その旨をその設備工事を行った施設又は建築物の所在地を管轄する都道府県知事(指定都市の区域内にあっては、指定都市の長)に届け出なければならないものはどれか。

イ．大学の厨房の用に供する供給設備の変更の工事であって、その供給設備に係る貯蔵設備の貯蔵能力を 300 キログラムから 400 キログラムに増加する工事
ロ．病院の冷暖房の燃料として業務の用に供する液化石油ガスの供給設備であって、その貯蔵設備の貯蔵能力が 800 キログラムであるものに係るガスメーターから末端ガス栓までの配管の延長工事
ハ．すでに所定の液化石油ガス設備工事の届出がなされているホテルの暖房の用に供する供給設備であって、その貯蔵設備の貯蔵能力が 800 キログラムである貯蔵設備の位置の変更を伴う工事

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問 13　特定液化石油ガス設備工事に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．特定液化石油ガス設備工事事業者は、複数の都道府県に事業所を設置してその事業を行おうとする場合にあっては、事業の開始の日から 30 日以内に所定の事項を経済産業大臣に届け出なければならない。
ロ．特定液化石油ガス設備工事事業者は、その事業所ごとに自記圧力計を備えなければならない。
ハ．特定液化石油ガス設備工事事業者は、二つ以上の消費設備に液化石油ガスを供給するための供給設備の設置に係る特定液化石油ガス設備工事をしたときは、その供給管、配管その他の設備の見やすい箇所に、容易に離脱しない方法により、所定の表示を付さなければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問 14　液化石油ガス設備士に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．液化石油ガス設備士は、特に定める場合を除き、所定の第 1 回の講習を受けた日の属する年度の翌年度の開始の日から 5 年以内に、第 2 回の講習を受けなければならない。
ロ．都道府県知事は、液化石油ガス設備士が高圧ガス保安法に違反したときは、その液化石油ガス設備士免状の返納を命ずることができる。
ハ．液化石油ガス設備工事に係る気密試験の作業のみに従事するときは、液化石油ガス設備士免状を携帯していなくてもよい。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問 15　特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律に係る法令に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．ガスバーナー付ふろがまの排気筒に接続される排気扇は、特定ガス消費機器である。

ロ．特定ガス消費機器の設置工事で、屋外に設置されるものの設置の工事は、特定工事である。

ハ．特定工事事業者は、特定工事を施工したときは、その特定工事に係る特定ガス消費機器の見やすい箇所に、容易にはく離しない方法により、所定の表示を付さなければならない。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ